

訪問ガイド 2026

Mauritshuis美術館

デン・ハーグ · から 21€

https://mauritshuis.visit-tickets.com/ja/ 優先入場チケット＆料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

王宮から芸術の神殿へ

GOOGLE 4.7 ★★★★★ 20 253 レビュー

TIQETS 4.7 ★★★★★ 1 227 レビュー

1636年から1641年にかけて建設された Mauritshuis は、当初、 Stadtholder のいとこであるヨハン・モーリッツ・フォン・ナッサウの邸宅であった。 ヤコブ・ファン・カンペンとピーテル・ポストが設計したこの新古典主義様式の建物は、厳格な対称性と、その時代としては稀有な建築的優雅さで際立っている。 当初、この建物は4つのプライベートな住居と1つの大広間を備えており、オランダ共和国の政治的中心地であったハーグの中心部に位置する所有者の尊大な地位を反映していました。 この場所の歴史は、重大な悲劇によって刻まれています。**1704**年、甚大な被害を伴う火災が発生し、内部全体が焼失しました。象徴的なドームも例外ではありませんでした。 1708年から1718年にかけて行われた修復工事は、現在私たちが認識している内部空間を再定義した。 この再建により、建物は後期バロック様式の魂を保ちながら数世紀にわたり存続し、やがてオランダの建築遺産の象徴となり、国内で最も重要な100か所の一つに指定されるに至った。 1822年、この美術館は一般に公開され、王立絵画室を収蔵した。 1795年にフランス人によって散逸または没収されたコレクションは、徐々に再統合されていった。 1995年、 Mauritshuis は非営利財団となり、州から委託された建物および作品の管理を担うようになった。 この現代的な構造は、管理された環境の中で絵画の厳格な保存を確保し、長期的な物理的および化学的安定性を保証します。 第二次世界大戦は、この建物の予期せぬ一面を明らかにしている。 1940年から1945年にかけて、この博物館は強制労働を免れようとする市民のためのナチスからの避難所として機能し、占領軍の存在にもかかわらず、彼らは屋根裏部屋や地下室に隠されていました。 同時に、博物館地下のバンカーに巧みに保管されたことでコレクションは救われ、その後、マーストリヒト近郊の聖ピータスベルク洞窟に移されました。 この二重の保護により、『真珠の耳飾りの少女』のような名作が完全に保存され、オランダ文化の強靭さを示すものとなった。

体験

入った瞬間、訪れる者は瞑想的な親密さの雰囲気に引き込まれる。 国立大美術館の広大なホールとは異なり、ここでは空間が狭く、キャンバスとの極めて近い距離感が生まれている。 高い窓から差し込む自然光が、肖像画を柔らかな輝きで包み込み、色彩のあらゆるニュアンスと筆致の細部まで際立たせている。 私たちは作品を安全な距離から眺めるのではなく、まるで17世紀の貴族の私的なサロンに招かれたかのように、向かい合ってそれらを凝視する。 コースは短いが内容が充実しており、身体的な疲労を感じさせずに完全没入型の体験を提供します。 各室は歴史を息づかせているかのようで、しばしば静寂が支配し、訪れる人々のかすかなささやきだけがそれを破る。 それは唯一無二の感覚体験であり、芸術は単に展示されるのではなく、日常を宙吊りにする時間的な泡の中で体感されるものです。 この感情は、オランダ黄金時代を代表する数人の絶対的な巨匠への完全な集中から生まれる。



訪問の準備

実用的な情報

住所
デン・ハーグ ・ トラム：Station Den Haag Centraal（2、10、17系統）またはVijverberg停留所（2系統）、徒歩5分。

開館時間
月曜日およびオランダの祝日は休館。季節によって営業時間が異なるため、訪問前にご確認ください。

料金
年齢に応じた無料入場あり（バリエーションを確認してください）

所要時間
完全な直線コースの鑑賞には45〜60分を見込んでください。スペースが限られているため、百科事典的な大規模な美術館とは異なり、身体的な疲労感なく高密度な没入体験が可能です。

写真撮影
フラッシュなしでの写真撮影は許可されています。狭い展示室での動線を妨げないよう、三脚の使用は一般的に禁止されています。特別展開催中は具体的なルールをご確認ください。

対象者
アートに興味があれば8〜10歳からでも理想的です。バリアフリー対応（主要フロア1つ）。子どもは静かに過ごせることが条件です。特定の遊び心あるコースはなく、静観を好む方に適しています。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

地下鉄
: Den Haag, Centrum — 3 min à pied
Cafe de la Gare (7 min) · デン・ハーグ、中央駅 (7 min)

バス
: 中心部 — 4 min à pied
Cafe de la Gare (10 min) · デン・ハーグ、中央駅 (10 min)

車
Cafe de la Gare (5 min) · デン・ハーグ、中央駅 (5 min)

自転車
Cafe de la Gare (4 min) · デン・ハーグ、中央駅 (5 min)

LOCALISATION

Où se trouve Mauritshuis美術館 ?



📍 Plein 29 — 2511 CS デン・ハーグ

🌐 52°4.826′ N, 4°18.859′ E



組織

直線的でコンパクトな動線

0階（1階）

このフロアには、黄金時代の偉大な巨匠に捧げられた主要な展示室が設けられています。レンブラントやフェルメールの象徴的な肖像画は、長めの鑑賞を促す静かな空間に配置されています。直線的なレイアウトにより、訪問者はコレクションの目玉作品へと自然と導かれます。

1階（上層）

上層には、当時の芸術的背景の理解を深めるための補完的な作品や風景画・風俗画が展示されています。部屋はより小さく設計されており、段階的に発見していくような動線が生まれています。また、建物の歴史や王室に関連する要素もご覧いただけます。

現代拡張部（トンネル）

2014年以降、コルテ・ヴィーファーベルク地下のトンネルを介して接続された拡張部が設けられ、企画展のための追加スペースを提供しています。この現代的な部分は、本館の古典的な建築様式と対照的です。常設コレクションの快適性を保ちながら、より多くの来館者を受け入れることを可能にしています。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

メインフロアへのアクセスが容易で、付属施設へは控えめな階段があります。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

好奇心旺盛な8〜10歳以上の子どもにおすすめですが、静粛さが求められます。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, イタリア語, ドイツ語



必見スポット

選択

ゴールデンエイジの宝物

01 JOHANNES VERMEER メインホール

真珠の耳飾りの少女

しばしば「北方のモナ・リザ」と呼ばれるこの作品は、フェルメールの天才を体現しています。若い女性のまっすぐな視線と真珠の輝きは、見る者を瞬時に魅了します。明暗法（clair-obscur）はこの作品で頂点に達し、驚くべき心理的深みを生み出しています。

> 💡 第二次世界大戦中、この絵画は博物館地下のバンカーに隠され、その後聖ピータースベルクの洞窟に移されました。これにより、奇跡的な生存が確保されました。

02 JOHANNES VERMEER メインホール

金翅雀

この初期の習作は、すでに画家による光の卓越したコントロールを示しています。鳥と少年との間の微妙な相互作用、そして衣服のシルクのような質感は、細やかな観察力を物語っています。これは、フェルメールが代表作を制作する以前の創造プロセスへの窓を開けてくれるものです。

> 💡 画家のキャリアの非常に早い段階で描かれたこの作品は、すでに物質感と光を表現するにおける彼の並外れた才能を明らかにしています。

03 JOHANNES VERMEER メインホール

デルフトの眺め

美術史上初の都市パノラマとされる本作は、街並みの息を呑むような空中からの眺めを提供します。地形学的な正確さと色彩パレットの穏やかさが、この作品を唯一無二のものにしています。フェルメールが故郷の静謐な本質をどのように捉えているかを鑑賞できます。

> 💡 この絵画は、17世紀のデルフトの都市幾何学に関する多くの研究に影響を与えました。

04 REMBRANDT VAN RIJN 主展示室

ニコラエス・トゥルプ博士の解剖学講義

オランダ・バロックの絶対的な傑作であるこの絵は、公開解剖を題材としている。死体に向かう視線による劇的な演出が、強烈な物語的緊張を生み出している。レムブラントは光を用いて顔立ちを彫刻し、このイベントの科学的な重要性を強調している。

> 💡 解剖モデルとなったヤン・アールツスは死刑囚であり、これは構成に生々しい現実の層を加えている。

05 REMBRANDT VAN RIJN メインホール

二つの円を伴う自画像

この晩年の自画像において、レムブラントは人間の二面性を探求しています。二つの円は、おそらく生と死、あるいは魂と肉体を象徴しています。内省的な表情は、巨匠の深い芸術的・精神的成熟を物語っています。

> 💡 これは、1669年の死間もなく描かれた、レムブラントの知られている最後の自画像の一つです。

06 JACOB VAN RUISDAEL 風景画室

風車

この作品は、オランダの風景画における初期ロマン主義を体現しています。嵐の空に支配される風車の塔は、自然の力強さを表現しています。ファン・ルイスダールは大気効果の描写において卓越しており、空気を実際に触れるかのように感じさせます。

> 💡 描かれている風車の塔は、画家にとって愛着のある場所であるザンダムに実際に存在していました。

07 VINCENT VAN GOGH 臨時展示室/ローテーション

じゃがいもを食べる人々

ポストインプレショニズム期の作品ほど知られてはいないものの、この絵はオランダの民間芸術がファン・ゴッホに与えた決定的な影響を示しています。現実的な温かみをもって農民の日常を描いています。この作品は、アーティストが地元の伝統に深く根ざしていることを強調しています。

> 💡 ファン・ゴッホはこの作品を何度も模写し、先駆者たちの社会的リアリズムへの敬意を示しました。

08 PAULUS POTTER 動物の部屋

フラミンゴ

この絵は画家がわずか15歳の時に描かれたもので、動物画における驚異的なリアリズムを誇っています。フラミンゴの皮膚の質感は信じられないほどの精度で表現されています。ポッターは、その若さをはるかに超える観察力を示しています。

> 💡 ポールス・ポッターは20歳という若さで悲劇的に溺死し、動物画における主要な作品を残しました。

アドバイス

訪問を十分に準備する

タイミング

9時30分または開館直後の時間帯を必ず選んでください。この時間帯は来場者が少なく、自然光も最適で、混雑に邪魔されずに絵画の細部をじっくり鑑賞できます。

チケット

事前にオンラインでチケットを予約することをお勧めします。ピークタイムには必須となる場合もあります。これにより、歴史的建造物前の行列を避け、入場を保証できます。

鑑賞ルート

ご案内の直線型コースに沿って進んでください。所要時間は約45分で、大きな身体的疲労を避けることができます。急いで走る必要はありません。論理的な順序に従い、各作品をじっくりと鑑賞してください。

写真

フラッシュなしで撮影してください。ただし、狭い部屋では通行の妨げになる三脚は避けてください。窓からの柔らかな光を利用して肖像画、特に「真珠の耳飾りの少女」を撮影しましょう。

休憩

社内カフェは小さく、エスプレッソに最適です。より充実した昼食を摂りたい場合は、ホフヴィーファーやヴィーファーベルク周辺のカフェへ向かいましょう。徒歩で数分の距離です。

子ども

芸術に興味を示している場合は、8〜10歳からのご利用を推奨します。専用の遊び心あるコースは設けられていないため、雰囲気を存分に楽しむには忍耐と落ち着いた心がけが必要です。

オーディオガイド

オーディオガイドはフランス語で利用可能であり、技法や歴史的な背景をより深く理解するためにその価値があります。レンブラントのような複雑な作品については、これを優先的にご利用ください。

快適さ

軽いバッグをお持ちください。建物のスペースが限られているため、大きなバッグやスーツケースは拒否されたり、有料の預け入れが必要になることがあります。博物館周辺を歩くため、歩きやすい靴をお勧めします。



よくある質問

よくある質問

事前に予約する必要があるのですか？

はい、歴史的建物の前で行列に並ぶのを避けるため、特にピークタイムには強く推奨されます。場合によっては必須となることもあります。ハイシーズンでは午前中の枠がすぐに埋まります。オンライン予約でアクセスを保証し、貴重な時間を節約しましょう。

キャンセルはいつまで可能ですか？

このチケットは、予約確認後、キャンセルも返金もできません。支払い前に日付、時間帯、参加人数をよくご確認ください。その後変更はできません。

現在プロモーションはありますか？

オーディオガイドやガイド付きツアーなど、公式サイトで一時的なオファーが表示される場合があります。「Offres」セクションを定期的にチェックしてください。標準料金は安定していますが、プレミアムオプションには季節ごとの割引が適用されることがあります。

現地で購入できますか？

可能ですが、毎日の在庫が限られているためリスクがあります。事前予約なしの場合、30〜45分待たされるか、空手でお帰りになる可能性があります。スムーズな体験のためには、オンライン予約が最も確実な方法です。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

すべての主要展示室を巡るには約45分かかります。コースは直線的でコンパクトであり、急ぐことなく高密度な鑑賞が可能です。黄金期の巨匠たちの作品の細部をじっくりと味わう時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

戦争の秘密の避難所

1940年から1945年にかけて、この博物館は思いがけない避難所として機能しました。強制労働を避けようとする人々は、建物内にナチスが駐在していたにもかかわらず、屋根裏や地下室に身を隠していました。この静かな歴史は、占領期におけるハーグの住民たちのレジリエンス（回復力）を示しています。

洞窟による救済

コレクション、特に『真珠の耳飾りの少女』を含む作品群を保護するため、まず美術館地下のバンカーに保管し、その後マーストリヒト近郊の聖ピータスベルクの洞窟へ移転した。この極めて慎重な措置により、国の遺産が丸2年間守られた。

創設の火災

1704年、火災により建物の内部が焼失し、その後1708年から1718年にかけて全面的な修復が行われました。この悲劇は現在の内部建築を形作り、博物館に私邸ではなく美術館としての現代的な外観をもたらしました。

国営

王族と名において親戚関係にあるものの、この美術館はオランダ政府の所有物であり、現在の王室財産ではありません。歴史的・文化的な重要性を強調する栄誉ある称号として、「王立絵画室」を擁しています。

博物館周辺

ハーグの中心部に位置するこの博物館は、豊かな歴史的環境に恵まれています。 すぐ隣には、オランダ政府の所在地であるゴシック様式の荘厳な建築「ビンネホフ」がそびえ立ち、魅力的な建築的対比を呈している。 静かなひとときを過ごしたいなら、王宮庭園に囲まれた大規模な人工池であるホフヴィーファーは、見学後の休憩に最適です。
ヴィーファーベルク周辺のカフェは、活気のあるテラス席を備えており、出発前のエスプレッソ一杯に最適です。 さらに奥へ進むと、王立海事博物館がオランダの海事史への没入体験を補完します。 この地区は歩行者天国で、のんびりと散歩するのに最適な雰囲気です。Korte Vijverberg広場は美術館から市街地中心部へと続く風光明媚な広場で、ゆっくりと散策を楽しむことができます。



Mauritshuisを離れるとき、私たちは純粋で持続的な感情を胸に抱いて去る。 これは単なる美術館の訪問ではなく、オランダ絵画の魂との親密な出会いです。 ハーグのこの小さな隠れ家では、時間がゆっくりと流れ、芸術がその人間性を最大限に発揮する。 これらの永遠の顔の刻まれたイメージを胸に抱き、芸術の栄光の時代を静かに証言する存在として持ち帰ってください。